

Polycom CMA Desktop ヘルプブック

Copyright © 2010 Polycom, Inc.
Polycom and the Polycom logo are registered trademarks and
Polycom CMA Desktop™ is a trademark of Polycom, Inc.
3725-26795-001/A
April 2010

目次

Polycom CMA Desktop へようこそ	1
Polycom CMA Desktop の起動	1
サインインおよびサインアウト	1
Polycom CMA Desktop の最初のステップ	2
相手先を連絡先リストに追加する	2
アイコンについて	3
相手先への通話	3
通話の発信	4
通話への応答	5
通話の終了	5
チャットの使用	7
Enter キーのカスタマイズ	7
チャットセッションへの通話の追加	8
通話へのチャットの追加	8
連絡先リスト、ディレクトリ、および最近の通話について	10
連絡先リスト	10
ディレクトリ	10
最近の通話	10
連絡先の管理	10
グループによる連絡先の整理	11
ディレクトリの使用	12
最近の通話の表示	13
最近の通話について	13
連絡先の検索	14
連絡先の詳細の表示	15
Windows デスクトップの表示	16
コンテンツの表示	16
相手側にこちら側の応答可否を表示	18
チャットウィンドウおよび通話ウィンドウのカスタマイズ	18
PIP の表示/非表示	19
警告の設定	19
フルスクリーンビデオの表示	19
ビデオプレビューウィンドウの表示/非表示	20
Enter キーのカスタマイズ	20
カメラの選択	21
カメラ設定の指定	21
カメラの調整	22
音声設定の指定	22

音量の調整	22
ネットワーク設定の指定	23
音声とビデオの問題の解決	25
音声デバイスのテスト	27
通知のトラブルシューティング	27
診断情報の収集	29
設定: 一般	30
最小化したとき、アプリケーションをタスクバーに表示	30
着信通話に自動応答	30
自動応答時ミュート	30
通話発信前にこちら側ビデオをプレビュー	30
マウスを連絡先リストに重ねたとき、連絡先カードを表示	30
連絡先リストに最近の通話を表示	30
ディレクトリの検索結果を、通話可能な人とシステムに限定	30
Callto: リンクと H323: リンクを開くデフォルトプログラムが Polycom CMA Desktop かどうかを必ず確認してください。	30
設定: サインイン	30
プロビジョニングサーバの指定	30
Windows の起動時に Polycom CMA Desktop を自動的に起動	30
Polycom CMA Desktop の起動時に自動的にサインイン	30
ログインのユーザ名 (ドメイン名\ユーザ名) を使用してサインイン	30
設定: ビデオ	31
カメラの選択	31
プレビュー	31
モニタが 2 台接続の場合、2 台目のモニタにフルスクリーンビデオを表示	31
カメラなしでの通話が有効	31
DirectX ハードウェアアクセラレーションを使用	31
コンテンツの送信時 Windows の Aero テーマが無効	31
720p (HD) 人物ビデオの送信を有効にする	31
最大 720p のフレームレートに対応	31
設定: ビデオのプレビュー	31
設定	31
設定: 音声	32
音声入力デバイス (マイク)	32
音声デバイスのテスト	32
音声出力デバイス (スピーカー)	32
警告	32
設定: 音声テスト	32
ふつうの音声レベルで話して音声入力デバイスをテスト	32
通話に使用する音声デバイスのテスト	32

警告に使用するデバイスのテスト	32
設定: ネットワーク	32
インターネット接続の種類を選択します	32
設定: 警告	33
通話中に警告音を再生しない	33
以下の場合に警告	33
設定: プレゼンス	33
アイドル状態のとき、プレゼンスを自動的に変更	33
非アクティブな状態で以下の時間が経過した場合、"アイドル" と表示:	33
以下のプレゼンスを常に表示:	33
連絡先リストへの登録承諾依頼を自動的に承諾	33
設定: メッセージ	34
メッセージ入力中に Enter キーを押したとき	34
チャットウィンドウを通話ウィンドウに固定	34
メッセージとともに日時を表示	34
こちら側はタイプ入力中であることを他のユーザに公開	34
設定: プロセッサ	34
検出されたプロセッサ	34
以下で最適性能が得られるようにシステムリソースを割り当て	34
設定: 設定	35
関連トピックス	35
設定: 通話情報	35
リモートシステム ID	35
通話速度	35
喪失パケット数	35
パケットロス	35
前回通話時間	35
累積通話時間	35
発信通話数	35
着信通話数	35
接続通話数	35
AES 暗号化チェックコード	35
Tx	35
Rx	35
人物ビデオの暗号化	35
コンテンツビデオの暗号化	35
音声の暗号化	35
FECC 暗号化	35
設定: メディア情報	36
People Tx	36

People Rx.....	36
Content Tx.....	36
Content Rx	36
Video Protocol.....	36
Video Rate.....	36
Video Rate Used	36
Video Frame Rate	36
Video Packets Lost.....	36
Video Jitter	36
Video Format.....	36
エラーコンシールメント	36
Audio Protocol.....	36
Audio Rate.....	36
Audio Packets Lost.....	37
Audio Jitter	37
設定: 通知ログ	37
通知ログ	37
通知を消去	37
CMAD 診断の収集.....	37

Polycom CMA Desktop の概要

Polycom CMA Desktop へようこそ

Polycom CMA Desktop

は、通話相手と手軽にビデオや音声のやりとりができるビデオ会議アプリケーションです。Polycom CMA Desktop を使用して、Polycom CMA Desktop や他のビデオ会議システムを利用している相手先と接続できます。ビデオ通話の参加者にプレゼンテーションや他のコンテンツを見せたり、プレゼンスを共有する Polycom CMA Desktop のユーザとチャットすることもできます。カメラを接続していない Polycom CMA Desktop の連絡先も、チャットや通話に参加できます。

関連トピックス

[Polycom CMA Desktop の起動](#)


[サインインおよびサインアウト](#)

[通話の発信](#)



Polycom CMA Desktop の起動

通話を発信するときに Polycom CMA Desktop を手動で起動するか、Windows の起動時に自動的に起動するように設定できます。Polycom CMA Desktop が起動したら、サインインして、通話の受発信ができます。

Polycom CMA Desktop を手動で起動するには、次の操作を行います。


Windows デスクトップで、 をダブルクリックして、Polycom CMA Desktop を起動します。

Polycom CMA Desktop を終了するには、次の操作を行います。

1. Windows システムトレイで、 (サインインしている場合)、または  (サインアウトしている場合) を右クリックします。
2. **[終了]** を選択します。

自動的にサインインが実行されるように Polycom CMA Desktop

を設定するには、以下の手順を実行します。

1. 以下のいずれかを実行します。
 - Polycom CMA Desktop にサインインした後、Windows システムトレイの  を右クリックし、**[サインアウト]** を選択します。
 - Polycom CMA Desktop を起動します。
2. **[メニュー]** をクリックし、**[設定] > [サインイン]** をクリックします。
3. **[Windows の起動時に Polycom CMA Desktop を自動的に起動]** を選択します。
4. **[Polycom CMA Desktop の起動時に自動的にサインイン]** を選択します。
5. **[適用] > [OK]** の順にクリックします。
6. Polycom CMA Desktop のユーザ名とパスワードを入力します。
7. **[パスワードを保存]** を選択し、**[サインイン]** をクリックします。

ヒント: これらの設定は、Windows の次回起動時に有効になります。サインイン画面から **[サインインの設定を変更]** をクリックすると、これらの設定をいつでも変更できます。

関連トピックス

[サインインおよびサインアウト](#)

[通話の発信](#)

[通話への応答](#)

[チャットの使用](#)

[サインインおよびサインアウト](#)

Polycom CMA Desktop のネットワーク設定によっては、Polycom CMA Desktop のユーザ名とパスワードが自動入力される場合があります。手動でユーザ名とパスワードを入力するように設定することもできます。

ネットワークのログイン情報を使用してサインインするには、以下の手順を実行します。

1. **【メニュー】**をクリックし、**【設定】>【サインイン】**をクリックします。
2. **【ネットワークログインのユーザ名(ドメイン\ユーザ名)を使用してサインイン】**を選択します。
3. **【適用】>【OK】**の順にクリックします。
4. **【サインイン】**をクリックします。

手動でサインインするには、以下の手順を実行します。


1. **【メニュー】**をクリックし、**【設定】>【サインイン】**をクリックします。
2. **【ネットワークログインのユーザ名(ドメイン名\ユーザ名)を使用してサインイン】**の選択を解除します。
3. **【適用】>【OK】**の順にクリックします。
4. Polycom CMA Desktop のユーザ名とパスワードを入力します。

Polycom CMA Desktop のユーザ名はすべて、**ドメイン\ユーザ名**の形式になります。ユーザ名についてヘルプが必要な場合は、Polycom CMA Desktop 管理者にお問い合わせください。


ヒント: サインインするたびにユーザ名とパスワードが Polycom CMA Desktop で自動入力されるようにするには、**【パスワードを保存】**を選択します。このオプションを選択すると、コンピュータを他のユーザと共有している場合に他のユーザによってアカウントが使用される可能性があることにご注意ください。


5. **【サインイン】**をクリックします。


Polycom CMA Desktop を起動するたびに自動的にサインインするには、以下の手順を実行します。

1. Windows デスクトップで、 をダブルクリックして、Polycom CMA Desktop を起動します。
2. Polycom CMA Desktop のユーザ名とパスワードを入力します。
3. **【自動的にサインイン】**を選択します。
4. **【サインイン】**をクリックします。

サインアウトするには、以下の手順を実行します。

Windows システムトレイの  を右クリックし、**【サインアウト】**を選択します。

アイコンが  に変わります。Polycom CMA Desktop

はまだ実行中ですが、通話やメッセージの送受信はできなくなります。再度サインインするには、 を右クリックして **【サインイン】**を選択します。

関連トピックス

[Polycom CMA Desktop の起動](#)


[通話の発信](#)

Polycom CMA Desktop の最初のステップ

Polycom CMA Desktop

の操作は簡単で直観的です。まず、以下のような操作を実行してみます。詳細を表示するには、このページの下部にある関連トピックのリンクを使用してください。

相手先を連絡先リストに追加する

1. ディレクトリを開くには、 をクリックします。
2. 名前の入力を開始します。
 - 管理者がシステムを自動検索に設定している場合は、文字を入力すると入力した文字列を含む連絡先が表示されます。
 - 管理者がシステムを手動検索に設定している場合は、検索ボタンをクリックして検索を開始します。



たとえば、"**and**" と入力すると、"**Andrew Jones**"、"**Christine Anderson**"、"**Andover Conference Room**" のように、エントリ名に "**and**" を含む連絡先が検出されます。





ヒント: 大きなディレクトリで高速検索を行うには、▼ をクリックして、検索対象の連絡先を含むグループを選択します。

- 検索機能によって検出された名前前のリストから、追加する相手先の名前をクリックします。
- [連絡先に追加]** をクリックします。
- 選択した相手先に、Polycom CMA Desktop から、こちら側の連絡先リストへの登録依頼を送信します。連絡先リストの名前は  で識別されます。


ヒント: ディレクトリには、通話可能な現在の Polycom CMA Desktop ユーザと、アカウントがまだアクティブになっていないユーザが含まれています。Polycom CMA Desktop のアカウントは、初回のサインイン時にアクティブになります。相手先が応答不可である場合は、サインインしてアカウントをアクティブにするように依頼します。そうすると、ディレクトリからユーザを検索して通話を発信することができるようになります。

アイコンについて

- 相手先が依頼に応じると、ビデオをサポートしている連絡先で、これらのアイコンが  に変わってビデオ通話とチャットができることを示します。
- その人のシステムがビデオ通話をサポートしていない場合は、アイコンが  に変わってチャットができることを示します。

アイコン	説明
	チャットまたは通話に応答できます。
	ビデオ通話中ですが、追加のビデオ通話に応答できます。チャットに応答できません。
	ビデオ通話中です。チャットに応答できます。
	ビデオ通話に応答できません。チャットに応答できますが、現在はアイドル状態です。

相手先への通話

- 以下のいずれかを実行します。
 - 連絡先リスト、最近の通話、またはディレクトリ上の名前をクリックします。
 - システム名または番号を入力します。
-  **[通話]** をクリックして通話を開始します。

関連トピックス

[連絡先リスト、ディレクトリ、および最近の通話について](#)

[通話の発信](#)

[通話への応答](#)

[応答可能なユーザの表示](#)



通話の発信と応答

通話の発信




通話を発信するには、連絡先リスト、ディレクトリ、または最近の通話から名前を選択します。通話情報を手動で入力して通話することもできます。こちら側のシステムの種類と相手側のシステムの種類に応じて、ビデオ通話や音声通話、またはチャットを行うことができます。

連絡先リストから名前を選択して通話を発信するには、以下の手順を実行します。



以下のいずれかを実行します。

- 連絡先をクリックし、ビデオ通話を発信します。相手のシステムがビデオをサポートしていない場合は、音声通話が始まります。相手のシステムがビデオも音声もサポートしていない場合は、チャットウィンドウが開きます。
-  をクリックしてビデオ通話を発信するか、 をクリックしてチャットを開始します。
- 連絡先を右クリックして、**[通話の発信]** を選択します。


[最近の通話] から通話を発信するには、以下の手順を実行します。

1. メインウィンドウから、以下のいずれかを実行します。
 - [最近の通話] が連絡先リストグループに含まれるようにシステムが設定されている場合は、 をクリックして [最近の通話] グループを開いてから、名前を選択します。
 - メインウィンドウの下部にある手動ダイヤルボックスをクリックして、入力を開始します。目的の名前を見つけたら、クリックして選択します。
 - メインウィンドウの下部にある手動ダイヤルボックスで、 をクリックして名前を選択します。
2.  **[通話]** をクリックして通話を開始します。

[ディレクトリ] から通話を発信するには、以下の手順を実行します。


1. ディレクトリを開くには、 をクリックします。
2. 名前を入力を開始します。
 - 管理者がシステムを自動検索に設定している場合は、文字を入力すると入力した文字列を含む連絡先が表示されます。
 - 管理者がシステムを手動検索に設定している場合は、検索ボタンをクリックして検索を開始します。たとえば、**"and"** と入力すると、**"Andrew Jones"**、**"Christine Anderson"**、**"Andover Conference Room"** のように、エントリ名に **"and"** を含む連絡先が検出されます。
ヒント: 大きなディレクトリで高速検索を行うには、 をクリックして、検索対象の連絡先を含むグループを選択します。
3. 名前をクリックしてから **[通話]** をクリックして通話を開始します。
4. Polycom CMA Desktop と別の Polycom
ビデオ会議システムの両方に登録している場合は、通話するシステムの選択を求めるメッセージが表示されます。

通話情報を入力して通話を発信するには、以下の手順を実行します。



1. メインウィンドウの下部にあるフィールドに通話情報を入力します。文字を入力すると、連絡先リストと最近の通話から一致するエントリが検出されます。目的の名前を見つけたら、クリックして選択します。
2.  **[通話]** をクリックして通話を開始します。

仮想会議室に通話を発信するには、以下の手順を実行します。

1. 以下のいずれかを実行します。
 - Polycom CMA Desktop と仮想会議室が同じ Polycom CMA サーバに登録されている場合は、内線番号 (E.164 アドレス) を入力します。
 - 次の形式でアドレスを入力します: `extension@IP_Address` (例: `1000@11.12.13.14`)
 - ブリッジの IP アドレスを入力し、`##` と仮想会議室の内線番号を付加します。例: `11.12.13.14##1000`

- 会議の出席依頼で **Callto**: リンクをダブルクリックします。
2.  **[通話]** をクリックして通話を開始します。

通話のヒント

- 通話中に、チャットウィンドウを開いて、通話に影響を与えることなく、他の参加者とメッセージを交換することができます。この操作は、問題のトラブルシューティングなどに利用することもできます。
- 通話の最長時間を **Polycom CMA Desktop** 管理者が設定している場合があります。指定の時間制限を超えた場合は、通話を続行するかどうかの確認を求めるメッセージが表示されます。
- 暗号化をサポートしているシステムとの通話を暗号化するように **Polycom CMA Desktop** 管理者が **Polycom CMA Desktop** を設定している場合があります。画面の下部に  が表示されている場合、通話は暗号化されています。画面の下部に  が表示されている場合、通話は暗号化されていません。カーソルをアイコンの上に置くと、現在の暗号化状況と暗号化キーが表示されます。

関連トピックス

[連絡先の検索](#)

[多地点通話への参加](#)

[応答可能なユーザの表示](#)

[通話への応答](#)

[通話の終了](#)

通話への応答

通話を受信すると、通話の相手先を示す通話通知が表示されます。**Polycom CMA Desktop** をこのメッセージが表示された後で通話に自動応答するか、手動で通話に応答するかを設定できます。

ビデオ通話の自動応答機能は便利ですが、忙しいときに予期しない通話を受信したり、不在時に室内を覗かれてしまう恐れがあります。自動応答時に相手先に会話を聞かれないよう、自動応答通話にミュートで応答するように設定することができます。

通話に手動で応答するには、以下の手順を実行します。

以下のいずれかを実行します。

- 通話を受けるには **[応答]** をクリックします。
- 通話を拒否するには **[無視]** をクリックします。

通話に自動応答するには、以下の手順を実行します。

操作は必要ありません。通話は自動的に接続されます。

通話に自動応答するようにシステムを設定するには、以下の手順を実行します。

1. メインウィンドウから **[メニュー]** をクリックして、**[設定]** > **[一般]** を選択します。
2. **[着信通話に自動応答]** を選択します。
3. すべての着信通話をミュートするには、**[自動応答時ミュート]** を選択します。

関連トピックス


[通話の終了](#)

[通話の発信](#)

通話の終了

通話はいずれかの参加者からでも終了することができます。通話が終了すると、通話ウィンドウは自動的に閉じられます。

通話を終了するには、以下の手順を実行します。

1. ビデオがフルスクリーン表示の場合は、マウスを動かしてツールバーを表示させます。
2. ツールバーの  **[通話の終了]** をクリックします。


関連トピックス

[通話の発信](#)

[通話への応答](#)

チャットの使用

チャットの使用

連絡先リストに 


マークが表示される連絡先とチャットできます。複数の連絡先と同時にチャットすることもできます。複数のチャットは、それぞれが異なるチャットウィンドウで行われます。

Polycom CMA Desktop

では、同じ連絡先との間でチャットとビデオの両方を容易に使用できます。ビデオ通話中に、チャットウィンドウを開いて、他の連絡先とメッセージを交換することができます。この操作は、音声問題のトラブルシューティングなどの場合に利用することができます。チャットウィンドウは、ビデオ通話に影響を与えることなく、いつでも開いたり閉じたりすることができます。また、相手側のシステムの機能によっては、チャット中にビデオや音声を追加することもできます。



チャット中または通話中の相手の名前は、連絡先リストに太字で表示されます。名前をクリックすると、必要なウィンドウを、すばやく手前に表示させることができます。

メッセージを送信するには、以下の手順を実行します。

1. チャットする相手の名前の横にある  をクリックします。
2. チャットウィンドウでメッセージを入力し、**[送信]** をクリックします。

ヒント: Enter キーの動作をカスタマイズすることができます。Enter キーが押されたらメッセージを送信するには、テキスト領域内の任意の場所を右クリックして、**[Enter キーによるメッセージの送信]** が有効であることを確認します。Enter キーが押されたら新しい行に移るには、このフィールドをクリアします。

ビデオ通話中にチャットウィンドウを開くには、以下の手順を実行します。

1. フルスクリーンビデオが表示されている場合は、ツールバーの  をクリックしてウィンドウサイズを縮小します。
2. 以下のいずれかを実行します。
 - ツールバーの  をクリックします。
 - チャットウィンドウが通話ウィンドウの下または側面に固定されている場合は、ウィンドウの下または側面で矢印をクリックします。

チャットウィンドウを閉じるには、以下の手順を実行します。

以下のいずれかを実行します。

- チャットウィンドウが通話ウィンドウの下または横に固定されている ("ドック"されている) 場合は、ウィンドウの下または横の矢印をクリックします。
- チャットウィンドウが通話ウィンドウに固定されていない場合は、チャットウィンドウの右上隅にある **X** をクリックします。

ヒント

- コンピュータで他のチャットアプリケーションを実行中に、Polycom CMA Desktop を実行できます。
- Polycom CMA Desktop がインストールされているコンピュータに、他のビデオ会議アプリケーションをインストールできます。ただし、他のビデオ会議アプリケーションと同時に Polycom CMA Desktop を実行することはできません。

関連トピックス

[チャットセッションへの通話の追加](#)

[チャットウィンドウおよび通話ウィンドウのカスタマイズ](#)

Enter キーのカスタマイズ

メッセージ入力時の Enter キーの動作を指定することができます。

チャット中の **Enter** キーの動作を指定するには、以下の手順を実行します。

1. メインウィンドウから **[メニュー]** をクリックして、**[設定]>[メッセージ]** を選択します。
2. **Enter** キー押したとき、メッセージの送信を行うか、改行を行うか指定します。

ヒント:**Enter** キーを押すとメッセージが送信されるように設定した場合、**Ctrl-Enter** キーを押すとメッセージ内に新しい行を追加できます。

関連トピックス

[チャットウィンドウおよび通話ウィンドウのカスタマイズ](#)

[チャットの使用](#)

[通話の発信](#)

チャットセッションへの通話の追加

チャット中に、ビデオ通話または音声通話を、容易にチャットセッションに追加することができます。

チャットセッションに通話を追加するには、以下の手順を実行します。

1. **[通話の追加]** をクリックします。
2. ビデオのプレビューを表示するようにシステムが設定されている場合は、ビデオを確認し、必要に応じてカメラを調整します。
ヒント:この操作を行うには、**[メニュー]** をクリックしてから、**[設定]>[一般]>[通話発信前にこちら側ビデオをプレビュー]** を選択します。
3. **[通話]** をクリックします。
相手側がビデオ通話をサポートしている場合は、ビデオ通話が開始します。
サポートされていない場合は、音声通話が起動されます。

関連トピックス

[チャットの使用](#)

[通話の終了](#)



[通話の発信](#)

通話へのチャットの追加

Polycom CMA Desktop

では、同じ連絡先との間でチャットと通話の両方を容易に使用できます。通話中にチャットウィンドウを開き、他の連絡先とチャットすることができます。この操作は、問題のトラブルシューティングなどに利用することもできます。チャットウィンドウは、通話に影響を与えることなく、いつでも開いたり閉じたりすることができます。チャット中に通話を追加することもできます。

ビデオ通話中にチャットウィンドウを開くには、以下の手順を実行します。

1. フルスクリーンビデオが表示されている場合は、ツールバーの  をクリックしてウィンドウサイズを縮小します。
2. 以下のいずれかを実行します。
 - ツールバーの  をクリックします。
 - チャットウィンドウが通話ウィンドウの下または側面に固定されている場合は、ウィンドウの下または側面で矢印をクリックします。

チャットウィンドウを閉じるには、以下の手順を実行します。

以下のいずれかを実行します。

- チャットウィンドウが通話ウィンドウの下または側面に固定されている場合は、ウィンドウの下または側面で矢印をクリックします。
- チャットウィンドウが通話ウィンドウに固定されていない場合は、チャットウィンドウの右上隅にある **X** をクリックします。

関連トピックス

[チャットセッションへの通話の追加](#)

[チャットウィンドウおよび通話ウィンドウのカスタマイズ](#)
[Enter キーのカスタマイズ](#)

連絡先、ディレクトリ、および最近の通話リストの使用

連絡先リスト、ディレクトリ、および最近の通話について

Polycom CMA Desktop を使用すると、通話する相手やシステムを容易に検索できます。

連絡先リスト

連絡先リストは、最も頻繁に通話を行う人やシステムに関する情報を保存する個人用の領域です。連絡先リストに人を追加するには、[ディレクトリ] または [最近の通話] からコピーします。システムがプレゼンスの共有をサポートしている人を追加すると、その人には連絡先リストへの登録の承諾依頼が送信されます。また、情報を手動で入力すると、ネットワークの外部の人やシステムも追加することが可能です。

ディレクトリ

ディレクトリには組織内の人やシステムに関する情報が含まれています。この情報は、Polycom CMA Desktop にサインインするたびに更新されます。ディレクトリを変更することはできませんが、ディレクトリのエントリを連絡先リストにコピーすることはできます。連絡先の表示名を変更したり、連絡先をグループに追加したりできます。

最近の通話

[最近の通話]

リストには、通話を送受信した人やシステムが含まれます。メインウィンドウの下部にある手動ダイヤルボックスで、▼ をクリックして名前を選択します。[最近の通話] を連絡先リストのグループに含めるようにシステムが設定されている場合は、田 をクリックして [最近の通話] グループを開いてから、名前を選択します。また、最近の通話リストと連絡先リストを検索することもできます。メインウィンドウの下部にある手動ダイヤルボックスをクリックして、入力を開始します。目的の名前を見つけたら、クリックして選択します。

関連トピックス

[連絡先の管理](#)

[最近の通話の表示](#)


連絡先の管理




連絡先リストは、最も頻繁に通話を行う人やシステムに関する情報を保存する個人用の領域です。連絡先リストに人を追加するには、[ディレクトリ] または [最近の通話] からコピーします。システムがプレゼンスの共有をサポートしている人を追加すると、その人には連絡先リストへの登録の承諾依頼が送信されます。また、情報を手動で入力すると、ネットワークの外部の人やシステムも追加することが可能です。

連絡先リストからクリックするだけで、通話を発信したりチャットしたりすることができます。プレゼンスを共有すると、相手側の応答可否や使用できる通話の種類をすばやく確認することができます。

応答可能な連絡先は、連絡先リストの最上部に表示されます。

ディレクトリ内の相手先またはシステムに、連絡先リストへの追加の承諾を依頼するには、以下の手順を実行します。




1. ディレクトリを開くには、 をクリックします。
2. 名前の入力を開始します。
 - 管理者がシステムを自動検索に設定している場合は、文字を入力すると入力した文字列を含む連絡先が表示されます。
 - 管理者がシステムを手動検索に設定している場合は、検索ボタンをクリックして検索を開始します。たとえば、"**and**" と入力すると、"**Andrew Jones**"、"**Christine Anderson**"、"**Andover Conference Room**" のように、エントリ名に "**and**" を含む連絡先が検出されます。
ヒント: 大きなディレクトリで高速検索を行うには、▼ をクリックして、検索対象の連絡先を含むグループを選択します。
3. 名前をクリックしてから **[連絡先に追加]** をクリックして通話を開始します。
4. オプションで、表示名を変更して、新しい連絡先のグループを選択します。
5. **[OK]** をクリックします。

その人のシステムがプレゼンスの共有をサポートしている場合は、Polycom CMA Desktop から連絡先リストへの登録の承諾依頼が送信されます。会議室のシステムのように、自動的に登録を承諾するように設定されているシステムもあります。依頼先が、自動的に承諾するように設定されていない場合は、連絡先リストの名前に  **[登録承諾依頼済み]** アイコンが表示されます。相手先が登録依頼に応じた場合、連絡先リストのアイコンが  に変わるとビデオ通話に参加できることを示し、 に変わるとチャットに参加できることを示します。

相手先が Polycom CMA Desktop とビデオ会議システムに登録されている場合は、すべてのシステムが連絡先リストに追加されます。

最近の発信者に、連絡先リストへの登録の承諾を依頼するには、以下の手順を実行します。

1. 連絡先リストの [最近の通話] グループから、追加する相手先またはシステムを検索します。
2. 右クリックして **[連絡先に追加]** を選択し、相手先またはシステムを連絡先リストに追加します。
3. 必要に応じて表示名を変更し、**[OK]** をクリックします。

その人のシステムがプレゼンスの共有をサポートしている場合は、Polycom CMA Desktop から連絡先リストへの登録の承諾依頼が送信されます。会議室のシステムのように、自動的に登録を承諾するように設定されているシステムもあります。依頼先が、自動的に承諾するように設定されていない場合は、連絡先リストの名前に  **[登録承諾依頼済み]** アイコンが表示されます。相手先が登録依頼に応じた場合、連絡先リストのアイコンが  に変わるとビデオ通話に参加できることを示し、 に変わるとチャットに参加できることを示します。

新しい連絡先を作成するには、以下の手順を実行します。

1. 連絡先またはグループを右クリックし、**[連絡先の作成]** を選択します。
2. 表示名とアドレスを入力し、**[OK]** をクリックします。

連絡先を削除するには、以下の手順を実行します。

連絡先を右クリックし、**[連絡先の削除]** を選択します。

プレゼンスを共有するシステムが複数ある連絡先のエントリを削除すると、その連絡先のエントリがすべて削除されます。プレゼンスを共有しないシステムでは、個々に削除する必要があります。

連絡先の表示名を変更するには、以下の手順を実行します。

1. 連絡先を右クリックし、**[連絡先の編集]** を選択します。
2. **[新しい表示名]** フィールドに、大文字と小文字、数字 0~9、および特殊文字のスペース、ドット、ハイフン、バックスラッシュ、アンダースコア () などを使用して新しい名前を入力します。

表示名は使用しているコンピュータ上にのみ表示されるため、わかりやすい任意の名前を指定します。たとえば、"mypresenceID" のように相手先の名前を特定しにくいアドレスを持つ連絡先があった場合、表示名として個人名を指定すると、連絡先リストから見つけやすくなります。

関連トピックス

[連絡先の検索](#)

[グループによる連絡先の整理](#)

[連絡先の詳細の表示](#)

[応答可能なユーザの表示](#)

グループによる連絡先の整理

プライベートグループ内では、任意の方法で連絡先を整理できるため、通話の相手先とシステムをすばやく容易に検索することができます。グループは、いくつでも必要なだけ作成することができます。プライベートグループは、こちら側でのみ表示されるため、わかりやすい任意の名前を指定することができます。ひとつの連絡先を複数のグループに追加することができ、そのグループ数に制限はありません。

連絡先リストには常に、連絡先のすべてを含む **[すべて]** グループが含まれています。連絡先リストが **[最近の通話]** をグループとして含むように設定されている場合もあります。

連絡先リストのグループを表示させるには、以下の手順を実行します。

連絡先またはグループを右クリックし、**[グループの表示]** を選択します。

連絡先リスト上にグループを作成するには、以下の手順を実行します。

1. 連絡先またはグループを右クリックし、**[グループの作成]** を選択します。
2. 大文字と小文字、数字、および記号のスペース、ドット、ハイフン、アンダースコアなどを使用してグループの名前を入力します。
3. **[作成]** をクリックします。

連絡先をグループに追加するには、以下の手順を実行します。

以下のいずれかを実行します。

- 既存の連絡先をグループに追加するには、グループにドラッグするか、連絡先を右クリックして **[連絡先をグループに移動]** を選択します。
- 新しい連絡先を作成するには、グループ名を右クリックして **[連絡先の作成]** を選択します。
- 連絡先を別のグループにコピーするには、連絡先を右クリックして **[連絡先をグループにコピー]** を選択します。
- ディレクトリから連絡先に誰かを追加するときに、グループを指定します。

連絡先をグループから削除するには、以下の手順を実行します。

連絡先を右クリックして **[連絡先をグループから削除]** を選択します。

選択したグループから、その連絡先が削除されます。

グループ内の連絡先を表示/非表示するには、以下の手順を実行します。

☐ をクリックしてグループの表示範囲を拡大するか、☐ をクリックしてグループの表示範囲を縮小します。

グループ名を変更するには、以下の手順を実行します。

1. グループ名を右クリックし、**[グループ名の変更]** を選択します。
2. **[新しいグループ名]** フィールドに、大文字と小文字、数字、およびスペース、ドット (.), ハイフン (-)、アンダースコア () などの記号を使用して新しい名前を入力します。

グループを削除するには、以下の手順を実行します。

1. 連絡先をグループから削除するには、別のグループにドラッグするか削除します。
2. グループ名を右クリックし、**[グループの削除]** を選択します。

関連トピックス

[連絡先の管理](#)

[最近の通話の表示](#)


ディレクトリの使用

ディレクトリを使用すると、組織内の人やシステムを検索することができます。ディレクトリから検索した相手先に通話を発信したり、連絡先リストへの登録の承諾を依頼することができます。誰かが承諾すると、お互いのプレゼンス情報を見ることができます。


ディレクトリには、個人やシステム (👤)、およびグループ (👥) についての情報が含まれています。ディレクトリは、複数のグループから構成されている場合もあります。これらのディレクトリグループを使用すると、検索を 1 つのグループだけに絞り込んで、短時間で人を見つけることができます。

検索をディレクトリの最上位に戻すには、🏠 をクリックします。

ディレクトリ内の人またはシステムを検索するには、以下の手順を実行します。



1. ディレクトリを開くには、 をクリックします。
2. 名前の入力を開始します。
 - 管理者がシステムを自動検索に設定している場合は、文字を入力すると入力した文字列を含む連絡先が表示されます。
 - 管理者がシステムを手動検索に設定している場合は、検索ボタンをクリックして検索を開始します。
 たとえば、"**and**" と入力すると、"**Andrew Jones**"、"**Christine Anderson**"、"**Andover Conference Room**" のように、エントリ名に "**and**" を含む連絡先が検出されます。
 ヒント: 大きなディレクトリで高速検索を行うには、▼ をクリックして、検索対象の連絡先を含むグループを選択します。

グループ内の人々を表示するには、以下の手順を実行します。

グループ () をダブルクリックします。

ディレクトリの最上位レベルに戻るには、以下の手順を実行します。

以下のいずれかを実行します。

-  をクリックします。
- 最上位に到達するまで、 を繰り返しクリックします。

関連トピックス

[連絡先の管理](#)

[連絡先の検索](#)

[連絡先リスト、ディレクトリ、および最近の通話について](#)




最近の通話の表示

Polycom CMA Desktop には、最近の通話を表示する方法が複数用意されています。


- [最近の通話] リストでは、通話を送受信した人やシステムを見ることができます。このリストを使用して、通話を発信したり、連絡先リストへの登録の承諾を依頼したりすることができます。連絡先を見つけやすくするために、同じ人やシステムと複数回通話を交わした場合でも、人やシステムはそれぞれ一度だけリストに表示されます。
- 各連絡先の詳細ウィンドウには、その連絡先との最近の通話が一覧になります。
- 通話ログにも、送受信した通話が表示されます。各通話が、それぞれの情報と一緒に表示されます。また、1つの連絡先との通話履歴も表示できます。


最近の通話について

[最近の通話] リストには、通話を発信したか受信したか、およびその通話の接続が確立したかどうかが表示されています。

アイコン	説明
	確立した発信通話
	確立した着信通話
	確立しなかった着信通話

[最近の通話] リストから通話を発信するには、以下の手順を実行します。

1. メインウィンドウから、以下のいずれかを実行します。
 - [最近の通話] が連絡先リストグループに含まれるようにシステムが設定されている場合は、 をクリックして [最近の通話] グループを開いてから、名前を選択します。

- メインウィンドウの下部にある手動ダイヤルボックスをクリックして、入力を開始します。目的の名前を見つけたら、クリックして選択します。
 - メインウィンドウの下部にある手動ダイヤルボックスで、▼ をクリックして名前を選択します。
2.  **[通話]** をクリックして通話を開始します。



連絡先リストで [最近の通話] をグループとして表示させるには、以下の手順を実行します。

1. メインウィンドウから **[メニュー]** をクリックして、**[設定] > [一般]** を選択します。
2. 連絡先リストに **[最近の通話]** を表示させるかどうか指定します。

通話ログを表示するには、以下の手順を実行します。

[メニュー] をクリックして、**[通話ログ]** を選択します。

ログエントリは、通話が相手先から受信またはシステムから発信された順序でリストに表示されます。通話ログで **[最近の通話]**

を検索するには、列見出しをクリックして並べ替えるか、名前をスクロールします。接続に成功した通話には  マークが付けられ、接続されなかった通話には  マークが付けられます。

通話ログからエントリを削除するには、以下の手順を実行します。

1. **[メニュー]** をクリックして、**[通話ログ]** を選択します。
2. 削除するエントリを1つまたは複数選択します。
3. エントリを右クリックし、**[選択されたエントリの削除]** を選択します。

連絡先の通話履歴を表示するには、以下の手順を実行します。

連絡先を右クリックして、**[詳細の表示]**

を選択します。通話履歴は、この連絡先への発信順、またはこの連絡先からの受信順に表示されます。

関連トピックス

[通話の発信](#)

[連絡先の詳細の表示](#)

[連絡先の管理](#)

[連絡先の検索](#)


連絡先の検索

連絡先リスト、ディレクトリ、または最近の通話に多数の名前が含まれている場合でも、目的の人をすばやく検索できます。目的の人が見つかったら、それをクリックするだけで通話の発信やチャットができます。


ディレクトリのリストに含まれている各人は、Polycom CMA Desktop アカウントと1

つ以上のビデオ会議システムに登録できます。ディレクトリから通話を発信しようとする、相手先のシステムを指定するよう求めるメッセージが表示されます。連絡先リストへの登録の承諾依頼に相手側が承諾すると、連絡先リストには相手先の各システムがそれぞれのエントリとして表示されます。

連絡先リストまたは最近の通話リストから名前を検索するには、以下の手順を実行します。

1. メインウィンドウの下部にある手動ダイヤルボックスに通話情報を入力します。文字を入力すると、連絡先リストと最近の通話から一致するエントリが検出されます。目的の人を見つけたら、クリックして選択します。
2.  **[通話]** をクリックして通話を開始します。

ディレクトリから名前を検索するには、以下の手順を実行します。

1. ディレクトリを開くには、 をクリックします。
2. 名前の入力を開始します。
 - 管理者がシステムを自動検索に設定している場合は、文字を入力すると入力した文字列を含む連絡先が表示されます。
 - 管理者がシステムを手動検索に設定している場合は、検索ボタンをクリックして検索を開始します。

たとえば、"**and**" と入力すると、"**Andrew Jones**"、"**Christine Anderson**"、"**Andover Conference Room**" のように、エントリ名に "**and**" を含む連絡先が検出されます。

ヒント: 大きなディレクトリで高速検索を行うには、▼ をクリックして、検索対象の連絡先を含むグループを選択します。

- 名前をクリックしてから、次のいずれかを行います。
 - [通話]** をクリックしてビデオ通話を発信します (こちら側でも相手側でもビデオがサポートされている場合)。ビデオがサポートされていない場合は、音声通話が起動します。Polycom CMA Desktop とビデオ会議システムの両方に登録している場合は、通話するシステムの選択を求めるメッセージが表示されます。
 - [連絡先に追加]** をクリックして、相手先またはシステムを連絡先リストに追加します。
- オプションで、表示名を変更して、新しい連絡先のグループを選択します。
- [閉じる]** をクリックすると、メインウィンドウに戻ります。

関連トピックス

[通話の発信](#)

[グループによる連絡先の整理](#)

連絡先の詳細の表示

各連絡先について、表示名、通話アドレス、ステータス、連絡先グループ、役職、場所、電話番号、電子メールアドレスなどの情報を表示できます。また、この連絡先との通話履歴も表示できます。

連絡先の詳細を表示するには、次の操作を行います。

連絡先を右クリックして、**[詳細の表示]** を選択します。

連絡先の詳細を編集するには、次の操作を行います。

連絡先を右クリックし、**[連絡先の編集]** を選択します。

詳細ウィンドウを閉じるには、以下の操作を行います。

ウィンドウの右上隅にある **X** をクリックします。

関連トピックス

[最近の通話の表示](#)

[連絡先の管理](#)

[連絡先リスト、ディレクトリ、および最近の通話について](#)

コンテンツの操作

Windows デスクトップの表示





Windows

デスクトップを表示させると、すべてのサイトで同じコンテンツが同時に表示されます。スライド、スプレッドシート、および他の種類のファイルを表示させることができます。カーソルを含む Windows デスクトップ上のすべての情報が、すべてのサイトに表示されます。相手側から、カーソルの制御やファイルの編集を行うことはできません。コンテンツを送信できるのは、一度に 1 つのサイトのみです。


コンピュータがデュアルモニタ構成で実行されている場合は、コンテンツを右側または左側のどちらのモニタに表示させるか選択することができます。コンテンツの一部のみを表示させるよう選択することもできます。

ヒント: Windows デスクトップを表示させる前に、コンテンツが準備されていることを確認します。

Windows デスクトップを相手側のサイトに表示させるには、以下の手順を実行します。



1. ツールバーの  をクリックします。
2. 以下のいずれかを実行します。
 -  **[モニタの情報を送信]**
をクリックします。コンピュータがデュアルモニタ構成で実行されている場合は、表示させたいモニタに対応する  をクリックします。
相手側のサイトには、こちら側のモニタと同じコンテンツが表示されます。
 -  **[ズーム]**
をクリックして、四角形を選択ツールが表示されたら、必要に応じて調整します。
相手側のサイトでは、四角形で囲まれた選択範囲のみが表示されます。

コンテンツをズームインするには、以下の手順を実行します。

1.  をクリックすると、四角形で囲まれた選択範囲が表示されます。
相手側のサイトでは、四角形で囲まれた選択範囲のみが画面全体に収まるように表示されます。
2. 表示されている領域の範囲を調整するには、カーソルを四角形で囲まれた選択範囲の隅に移動し、以下のいずれかを実行します。
 - カーソルが矢印に変わったら、クリック アンド ドラッグ操作により選択範囲のサイズを変更します。
 - カーソルが手の形に変わったら、クリック アンド ドラッグ操作により選択範囲を移動します。

Windows デスクトップの表示を停止するには、以下の手順を実行します。

以下のいずれかを実行します。

- フルデスクトップを表示している場合は、 をクリックします。
- コンテンツをズームインしている場合は、 をクリックします。
- [コンテンツ] ウィンドウを閉じます。

関連トピックス


[通話の発信](#)

[コンテンツの表示](#)

コンテンツの表示

相手側がコンテンツを表示すると、こちら側ではプライマリモニタの別のウィンドウに表示されます。コンテンツウィンドウは移動およびサイズ変更することができます。コンテンツをズームイン/ズームアウトすることもできます。

コンテンツをズームイン/ズームアウトするには、以下の手順を実行します。

 をクリックして、コンテンツの倍率を選択します。

関連トピックス

[Windows デスクトップの表示](#)

Polycom CMA Desktop 環境のカスタマイズ

相手側にこちら側の応答可否を表示

コンピュータから離れる場合や通話を受けられない場合は、通話に出られないことを相手側に伝えるように Polycom CMA Desktop を設定できます。指定した時間コンピュータがアイドル状態になった場合に応答可否アイコンを自動的に変更するように Polycom CMA Desktop を設定することもできます。

応答可否を変更するには、以下の手順を実行します。

メインウィンドウで、名前の下 の ▼ をクリックし、次のいずれかを選択します。

設定	プレゼンス
応答可	 または 
着信拒否	

ヒント: システムが [着信拒否]

に設定されているときは、連絡先リストで相手先のプレゼンスを確認して通話を発信したりチャットメッセージを送信したりできますが、通話やチャットメッセージを受信することはできません。

こちら側のアイドル状態を、相手側に自動的に表示させるには、以下の手順を実行します。

1. メインウィンドウから [メニュー] をクリックし、[設定] > [プレゼンス] を選択します。
2. [非アクティブな状態で以下の時間が経過した場合、"アイドル" と表示:] を選択し、連絡先リスト内で名前に "アイドル" マークが表示されるまでのシステムのアイドル時間 (分) を指定します。[連絡先の詳細] ウィンドウには、[状況] として [アイドル] と表示されます。

関連トピックス

[応答可能なユーザの表示](#)

[通話の発信](#)

チャットウィンドウおよび通話ウィンドウのカスタマイズ

チャットウィンドウおよび通話ウィンドウの表示方法を選択することができます。

チャットウィンドウおよび通話ウィンドウの表示方法を指定するには、以下の手順を実行します。

1. メインウィンドウから [メニュー] をクリックして、[設定] > [メッセージ] を選択します。
2. メッセージの入力時に Enter キーを押したときの動作を指定します。
 - **[メッセージの送信]** を使用すると、**[送信]** ボタンをクリックせずに、メッセージをすぐに送信できます。
 - **[改行の挿入]** を使用すると、ワードプロセッサと同じように入力操作を継続することができます。メッセージを送信するには、**[送信]** をクリックします。
3. チャットウィンドウを通話ウィンドウに連結 (固定) するかどうかを指定します。
4. ウィンドウを固定する場合は、チャットウィンドウの位置を指定します。
 - **[下端に固定]** を使用すると、チャットウィンドウが通話ウィンドウの下側に固定されます。
 - **[右端に固定]** を使用すると、チャットウィンドウが通話ウィンドウの右側に固定されます。
5. メッセージとともに日時を表示させるかどうか指定します。
6. タイプ入力時に、相手側に入力中を示すメッセージを表示させるかどうか指定します。

関連トピックス

[通話の発信](#)[チャットの使用](#)**PIP の表示/非表示**

通話中に PIP

ウィンドウをオンにすると、相手側に送信しているこちら側のビデオ画像を確認することができます。PIP ウィンドウは、メイン ビデオ ウィンドウの隅に表示されます。PIP ウィンドウは、通話中にいつでもオン/オフを切り替えることができます。

ヒント:

フルスクリーンビデオを選択すると、ツールバーは自動的に非表示になります。ツールバーを一時的に表示させるには、マウスを移動します。

PIP を表示/非表示するには、以下の手順を実行します。

ツールバーの  をクリックします。


関連トピックス[フルスクリーンビデオの表示](#)[チャットウィンドウおよび通話ウィンドウのカスタマイズ](#)[プレビュー ビデオ ウィンドウの表示/非表示](#)**警告の設定**

警告音、警告表示、またはその両方を使用して、連絡先とメッセージの状況を通知するように Polycom CMA Desktop を設定できます。警告音とは、各イベント用に再生される音楽トーンです。警告表示とは、画面の右下隅に一時的に表示される小さいウィンドウです。フルスクリーンビデオを表示している場合、これらの警告表示は非表示になっています。

警告を設定するには、以下の手順を実行します。

1. メインウィンドウから **[メニュー]** をクリックして、**[設定] > [警告]** を選択します。
2. ビデオ通話中に警告音を再生したくない場合は、**[通話中に警告音を再生しない]** を選択します。
3. 以下のイベントを Polycom CMA Desktop で通知する方法を指定します。
 - 連絡先がオンラインになったとき
 - 連絡先がオフラインになったとき
 - 相手側が、こちら側の情報を連絡先リストに追加
 - メッセージを受信
 - 通話を受信
4. 着信ビデオ通話に対して呼出音を 1 回だけ鳴らすか、または繰り返し鳴らすか指定します。
 - 呼出音を一度だけ鳴らすには、**[呼出音を一度だけ鳴らす]** を選択します。
 - 着信通話に応答するか相手側が通話を終了するまで、呼出音を繰り返し鳴らすには、**[呼出音を連続して鳴らす]** を選択します。

警告に関する詳細情報を取得するには、以下の手順を実行します。

メインウィンドウの下部にある  をクリックして、警告の詳細を表示します。

関連トピックス[通話への応答](#)**フルスクリーンビデオの表示**

ビデオ通話中は、ビデオをフルスクリーンで表示するように選択することができます。これにより、相手側の人物ビデオが拡大され、見やすくなります。通話中に、コンピュータ上のコンテンツを参照したり、通話と同

時にチャットしている場合は、ビデオウィンドウを小さく表示させることもできます。通話中に、2つの表示画面を交互に切り替えることもできます。

フルスクリーンビデオが表示されている場合、連絡先のオンライン/オフラインの状態を示す警告は非表示になっています。チャットウィンドウも非表示になっています。フルスクリーンビデオ通話中にメッセージを受信すると、小さいビデオウィンドウに切り替わります。

ヒント:


フルスクリーンビデオを選択すると、ツールバーは自動的に非表示になります。ツールバーを一時的に表示させるには、マウスを移動します。

フルスクリーンビデオを表示させるには、以下の手順を実行します。

ツールバーの  をクリックします。

小さいビデオウィンドウに戻るには、以下の手順を実行します。

以下のいずれかを実行します。

- ツールバーの  をクリックします。
- **Esc** キーを押します。

関連トピックス

[通話の発信](#)

[PIP の表示/非表示](#)


[通話の終了](#)

[チャットセッションへの通話の追加](#)


ビデオプレビュー ウィンドウの表示/非表示

通話中でない場合、カメラからのビデオ画像は、連絡先リストの上部にあるビデオプレビューウィンドウに表示されます。このウィンドウを非表示にすることもできます。

ビデオプレビュー ウィンドウを非表示にするには、以下の手順を実行します。

 をクリックします。

ビデオプレビュー ウィンドウを表示させるには、以下の手順を実行します。

 をクリックします。

関連トピックス

[PIP の表示/非表示](#)

[フルスクリーンビデオの表示](#)

[チャットウィンドウおよび通話ウィンドウのカスタマイズ](#)

Enter キーのカスタマイズ

メッセージ入力時の Enter キーの動作を指定することができます。

チャット中の Enter キーの動作を指定するには、以下の手順を実行します。

1. メインウィンドウから **[メニュー]** をクリックして、**[設定]** > **[メッセージ]** を選択します。
2. Enter キー押したとき、メッセージの送信を行うか、改行を行うか指定します。

ヒント: **Enter** キーを押すとメッセージが送信されるように設定した場合、**Ctrl-Enter** キーを押すとメッセージ内に新しい行を追加できます。

関連トピックス

[チャットウィンドウおよび通話ウィンドウのカスタマイズ](#)

[チャットの使用](#)

[通話の発信](#)

カメラ、音声、ネットワークの設定

カメラの選択

環境が異なると、使用するカメラを変える必要が生じます。たとえば、会社で仕事をするときはノートパソコンで Webcam

を使用できますが、自宅で仕事をする場合はノートパソコンに内蔵されているカメラを使用する必要があります。ビデオ設定を再設定する代わりに、使用するカメラを通話前または通話中に選択するだけで済みます。

Polycom CMA Desktop に使用する Webcam

またはビデオデバイスの選択については、www.polycom.com/vidiodocumentation に掲載されているリリースノートをご参照ください。

Webcam のインストールについては、Webcam に付属のマニュアルをご参照ください。

通話に使用するカメラを選択するには、以下の手順を実行します。

ツールバーの  をクリックし、使用するカメラを選択します。

関連トピックス

[通話の発信](#)

[カメラ設定の指定](#)

[カメラの調整](#)

[音量の調整](#)

カメラ設定の指定

カメラ設定を指定すると、カメラがシステムでどのように動作するか指定することができます。

カメラ設定を指定するには、以下の手順を実行します。

1. メインウィンドウから **[メニュー]** をクリックして、**[設定]>[ビデオ]** を選択します。
2. 使用するカメラを選択します。

設定	説明
なし	カメラを使用しない
自動	カメラを自動的に選択する
指定	インストールされたカメラのリストからカメラを選択する

3.

3. 選択されたカメラのビデオ画像をプレビューするには、**[プレビュー]** をクリックします。表示されるビデオ画像を調整するには、**[設定]** をクリックして、カメラの製造元から提供されるカメラ制御メニューに移動します。

4. 2

台目のモニタがある場合は、そのモニタにフルスクリーンビデオを表示させるかどうか指定します。

5. コンピュータにカメラが接続されていない場合にビデオ通話を許可するかどうか指定します。

この設定によって、カメラが接続されていない場合やカメラ選択が **[なし]** に設定されている場合でも、ビデオ通話の受発信を行うことができます。このようなビデオ通話では、こちら側には相手側のビデオが表示され、相手側には Polycom CMA Desktop のロゴが表示されます。

6. コンピュータが DirectX ハードウェアアクセラレーションをサポートしているかどうか指定します。

7. システムが Windows Vista または Windows 7 を使用している場合は、コンテンツを送信するときに Aero テーマを無効にするかどうかを指定します。

関連トピックス

[カメラの選択](#)

[カメラの調整](#)

[設定: ビデオ](#)

カメラの調整

使用するカメラによっては、レンズカバーを手動で開閉し、焦点を合わせ、カメラ設定を行うことによって、こちら側カメラを調整することができます。

カメラの焦点を調整するには、以下の手順を実行します。

ほとんどのカメラでは、焦点を調整するためにカメラのダイヤルを回します。通常、遠い被写体に焦点を合わせる場合は時計方向に回し、近い被写体に焦点を合わせる場合は反時計方向に回します。

注意:ダイヤルを左右に回しすぎると、カメラが損傷する恐れがあるので注意してください。

カメラを設定するには

(設定ページがカメラの製造元によって用意されている場合)、以下の手順を実行します。

1. メインウィンドウから **[メニュー]** をクリックして、**[設定]>[ビデオ]** を選択します。
2. カメラが選択されていることを確認します。
3. **[プレビュー]** をクリックします。
4. カメラの製造元によってカメラの設定画面が用意されている場合は、**[設定]** をクリックして設定画面を開きます。

相手側からこちら側のビデオ画像を見られないようにするには、以下の手順を実行します。

カメラにレンズカバーが付いている場合は、レンズカバーを閉じます。

関連トピックス

[カメラの選択](#)

[カメラ設定の指定](#)

音声設定の指定

音声設定を指定すると、音声の処理方法を指定することができます。

音声設定を指定するには、以下の手順を実行します。

1. メインウィンドウから **[メニュー]** をクリックして、**[設定]>[音声]** を選択します。
2. 使用する音声入力デバイスを選択します。通常、音声入力デバイスはマイクまたはヘッドセットです。**[自動]** を選択して、Windows のデフォルトの音声入力デバイスを使用します。
3. ビデオ通話に使用する音声出力デバイスを選択します。通常、音声出力デバイスはスピーカーまたはヘッドセットです。**[自動]** を選択して、Windows のデフォルトの音声出力デバイスを使用します。
4. 警告の再生に使用する音声出力デバイスを選択します。**[自動]** を選択して、Windows のデフォルトの音声出力デバイスを使用します。

関連トピックス

[音声デバイスのテスト](#)

[音量の調整](#)

[カメラ設定の指定](#)

[警告の設定](#)

[設定: 音声](#)

音量の調整

Polycom CMA Desktop

を使用すると、さまざまな方法で音量を調整できます。たとえば、音量を増減させたり、マイクを手動または自動でミュートしたりすることができます。

最適な音量にするには、音量レベルを調整する前に、コンピュータの音量レベルを最大音量の半分に設定します。


ヒント:


フルスクリーンビデオを選択すると、ツールバーは自動的に非表示になります。ツールバーを一時的に表示させるには、マウスを移動します。

音量を増減させるには、以下の手順を実行します。

ツールバーの  を左右に移動します。


マイクを手動でミュートするには、以下の手順を実行します。

マイクを手動でミュートにするには、ツールバーの  をクリックします。

相手側に送信する音声はミュートされます。マイクのミュートを解除するには、 をクリックします。

マイクを自動的にミュートするには、以下の手順を実行します。

1. メインウィンドウから **[メニュー]** をクリックして、**[設定] > [一般]** を選択します。
2. **[自動応答時ミュート]** を有効にします。

マイクが通話中にミュートになった場合は、画面にミュートアイコン  が表示され、ツールバーでミュートボタンがハイライトされます。

関連トピックス

[通話の発信](#)

[音声とビデオの問題の解決](#)

ネットワーク設定の指定

Polycom CMA Desktop は、接続の種類に応じて、最適な通話品質となるように自動調整されます。Polycom CMA

Desktop に接続の種類を自動判別させるか、自分で指定できます。システムに通話速度の制限がプロビジョニングされている場合は、プロビジョニングされた速度によって通話に使用される速度が決まります。

メモ:通話中はネットワーク設定を変更できません。

ネットワークタイプを指定するには、以下の手順を実行します。

1. メインウィンドウから **[メニュー]** をクリックして、**[設定] > [ネットワーク]** を選択します。
2. 使用するネットワーク接続の種類を選択します。

ネットワークタイプ	ネットワークの制限 (すべてのトラフィック)	通話の制限	ビデオ	コンテンツ	音声	チャット
企業ネットワーク	10 Mbps	制限なし	●	●	●	●
プレミアムブロードバンド	768 kbps 以上	512 kbps	●	●	●	●
高速ブロードバンド	512 kbps	384 kbps	●	●	●	●
標準ブロードバンド	384 kbps	256 kbps	●	●	●	●
基本ブロードバンド	256 kbps	192 kbps	●	●	●	●
最小ブロードバンド	128 kbps	64 kbps	—	—	●	●
ダイヤルアップ	128 kbps 未満	—	—	—	—	●

3.



関連トピックス

[通知のトラブルシューティング](#)

問題の解決

音声とビデオの問題の解決

現象	解決方法
ビデオ	
使用中のカメラがデバイス選択リストに表示されない	デバイス製造元から提供されたインストール CD を使用してビデオデバイスを再インストールしてから、Polycom CMA Desktop を再起動します。
相手側にこちら側のビデオ画像が表示されない	<p>カメラのケーブルが正しく接続されているかどうか確認します。</p> <p>Polycom CMA Desktop を再起動します。</p> <p>デバイス製造元から提供されたインストール CD を使用してビデオデバイスを再インストールしてから、Polycom CMA Desktop を再起動します。</p> <p>カメラ設定を確認します。確認するには、[メニュー] をクリックしてから、[設定] > [ビデオ] を選択します。</p> <p>ファイアウォールの設定を確認します。場合によっては、Polycom CMA Desktop を Windows のファイアウォール例外リストに加える必要があります。その方法:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Windows デスクトップから [スタート] をクリックして、[コントロールパネル] > [Windows ファイアウォール] を選択します。 2. 例外タブで、[プログラムの追加] をクリックします。 3. c:\Program Files\Polycom\Polycom CMADesktop\wvsys.exe に移動して [開く] をクリックします。 4. c:\Program Files\Polycom\Polycom CMA Desktop\PolycomCMA Desktop.exe に移動して [開く] をクリックします。 <p>コンピュータでサードパーティの個人用ファイアウォールを使用している場合は、そのソフトウェアで同様の手順に従う必要があるかもしれません。詳細については、ファイアウォールのマニュアルをご参照ください。</p>
ビデオウィンドウが表示されない。	モニタを 1 台使用している場合は、2 台目のモニタでフルスクリーンビデオを表示するように設定されていないか確認します。確認するには、 [メニュー] をクリックしてから、 [設定] > [ビデオ] を選択します。
ビデオプレビューウィンドウに青いビデオ画像が表示される	<p>カメラが他のアプリケーションによって使用されていないことを確認します。</p> <p>カメラのケーブルが正しく接続されているかどうか確認します。</p> <p>Polycom CMA Desktop を再起動します。</p> <p>デバイス製造元から提供されたインストール CD を使用してビデオデバイスを再インストールしてから、Polycom CMA Desktop を再起動します。</p>
こちら側のビデオプレビューウィンドウに Polycom CMA Desktop ロゴまたは自分の会社のロゴが表示される。	<p>これは、[カメラなしでの通話が有効] に設定されているシステムでは正常な状態です。カメラを使用できない場合には、ローカルビデオ画像の代わりにロゴが表示されます。</p> <p>カメラがコンピュータに接続されている場合は、カメラのケーブルが正しく接続されているかどうか確認します。</p>
ローカルビデオの画像	最適な品質のビデオ画像を送信するために、以下の操作を試みます。

が粗い	<ul style="list-style-type: none"> ● 照明を明るくしたり、蛍光灯の代わりに自然光または白熱灯を使用してみます。 ● カメラが正しく設定されていることを確認します。詳細については、「カメラ設定の指定」をご参照ください。 ● カメラの選択 に表示されているテスト済みカメラを使用します。
ノートパソコンの通話品質が悪い。	<p>ノートパソコンが電源に接続していることを確認します。バッテリー電源で実行していると、ノートパソコンの性能が低下する場合があります。</p> <p>Windows の電源管理設定を 【高パフォーマンス】 (Windows Vista) または 【最大パフォーマンス】 (Windows XP) に調整します。</p> <p>Polycom CMA Desktop が最大パフォーマンスを得られるシステムリソースを割り当てるように Polycom CMA Desktop を設定します。この操作を行うには、【メニュー】 をクリックしてから、【設定】 > 【プロセッサ】 を選択します。</p>
相手側のビデオ画像がこちら側で表示されない	<p>DirectX</p> <p>ハードウェアアクセラレータをオフにしてみます。この操作を行うには、【メニュー】 をクリックしてから、【設定】 > 【ビデオ】 を選択します。</p>
通話が始まる前からビデオが表示されるまでに時間がかかる	<p>ネットワークに問題が発生している場合は、通話の接続に時間がかかることがあります。後で通話を再試行することをお勧めします。</p>
音声	
使用中のマイクがデバイス選択リストに表示されない	<p>デバイス製造元から提供されたインストール CD を使用して音声デバイスを再インストールしてから、Polycom CMA Desktop を再起動します。</p>
相手側でこちらの音声が聞こえない	<p>音声がミュートされていないかどうか確認します。音声がミュートになっている場合は、画面に  が表示され、ツールバーで  がハイライトされます。</p> <p>マイクのケーブルが正しく接続されているかどうか確認します。</p> <p>デバイス製造元から提供されたインストール CD を使用して音声デバイスを再インストールしてから、Polycom CMA Desktop を再起動します。</p> <p>音声設定を確認します。この操作を行うには、【メニュー】 をクリックしてから、【設定】 > 【音声】 を選択します。変更を行った後で、【音声デバイスのテスト】 をクリックして音声デバイスをテストします。</p>
相手側でエコーが聞こえる	<p>こちら側のシステムの音量を下げます。</p> <p>マイクとスピーカーをできるだけ離して配置します。</p> <p>スピーカーの代わりにイヤホンを使用します。</p> <p>マイクとスピーカーの代わりにヘッドセットを使用します。</p> <p>ラップトップの内蔵スピーカーをラップトップの内蔵マイクまたは Webcam のマイクと一緒に使用している場合は、ラップトップコンピュータの構造とラップトップスピーカーの品質によって、Windows のエコーキャンセラでは修正できない問題が発生する場合があります。外部スピーカーを接続して、内蔵スピーカーの代わりに使用します。</p>
相手側で聞こえる声質が悪い	<p>マイクを話し手から遠ざけます。話すときにマイクに近づきすぎると、音質が低下します。</p>

相手側の音声はこちら側で聞こえない	<p>相手側の音声ミュートに設定されていないか確認します。</p> <p>音量が十分なレベルに設定されていることを確認します。</p> <p>スピーカーのケーブルが正しく接続されているかどうか確認します。</p> <p>デバイス製造元から提供されたインストール CD を使用して音声デバイスを再インストールしてから、Polycom CMA Desktop を再起動します。</p>
オンラインヘルプ	
オンラインヘルプが正しく表示されない	<p>コンピュータの Web ブラウザが、アクティブなコンテンツを許可するように設定されていることを確認します。この設定の調整方法については、ブラウザのマニュアルをご参照ください。</p>

関連トピックス

[音声デバイスのテスト](#)

[通知のトラブルシューティング](#)

音声デバイスのテスト

音声デバイスが正しく機能していることを確認するため、ビデオ通話と警告の再生に使用する音声デバイスをテストすることができます。

音声デバイスをテストするには、以下の手順を実行します。

1. メインウィンドウから **[メニュー]** をクリックして、**[設定] > [音声]** を選択します。
2. **[音声デバイスのテスト]** をクリックします。
3. ふつうの音声レベルでマイクに向かって話します。

話している間、インジケータはマイクからの音声レベルを表示します。音質を高めるため、音声レベルを示すカラーバーが、ほとんどの場合、緑色で表示されるように話します。このためには、マイクを離れた位置にセットしなければならない場合もあります。

4. 通話に使用する音声デバイスをテストするには、**[開始]** をクリックして、終了時に **[終了]** をクリックします。
5. 警告に使用するデバイスをテストするには、**[開始]** をクリックして、終了時に **[終了]** をクリックします。


関連トピックス

[音声設定の指定](#)

[音量の調整](#)

通知のトラブルシューティング

Polycom CMA

Desktop では、ウィンドウの右下隅に通知が表示されます。問題の解決に関する詳細を表示するには、 をクリックしてください。

メッセージ	解決方法
接続できるネットワークがありません。	<p>ネットワークケーブルがシステムにしっかり接続されていることを確認します。</p> <p>ネットワークアダプタがインストールされ、正しく設定されていることを確認します。</p>
サーバに接続できません。	<p>プロビジョニングサーバのアドレスが正しく入力されていることを確認します。この操作を行うには、[メニュー]</p>

	<p>をクリックしてから、[設定] > [サインイン]を選択します。</p> <p>このメッセージが消えない場合は、Polycom CMA Desktop 管理者にお問い合わせます。</p>
<p>Polycom CMA Desktop のライセンスがすべて使用されています。</p>	<p>通話中のユーザ数が最大値に達しています。後で、再度サインインします。</p> <p>このメッセージが消えない場合は、Polycom CMA Desktop 管理者にお問い合わせます。</p>
<p>サーバからのプロビジョニングデータ取得に失敗しました。ユーザ名とパスワードが正しいことを確認します。</p>	<p>このメッセージが消えない場合は、Polycom CMA Desktop 管理者にお問い合わせます。</p>
<p>Polycom CMA Desktop がメディアサーバに登録されていません。</p>	<p>メディアサービスを使用できないか、サーバのアドレスまたはアカウントに問題がある可能性があります。Polycom CMA Desktop は引き続きバックグラウンドで接続を試みます。</p> <p>このメッセージが消えない場合は、Polycom CMA Desktop 管理者にお問い合わせます。</p>
<p>Polycom CMA Desktop がプレゼンスサーバに登録されていません。</p>	<p>プレゼンスサービスを使用できないか、サーバのアドレスまたはアカウントに問題がある可能性があります。Polycom CMA Desktop は引き続きバックグラウンドで接続を試みます。</p> <p>このメッセージが消えない場合は、Polycom CMA Desktop 管理者にお問い合わせます。</p>
<p>システムの CPU 速度が、ビデオ通話には不十分です。</p>	<p>プロセッサが Pentium 4 (1.5 GHz) または Pentium M (1.2 GHz) 以上であることを確認します。</p> <p>システムが AC 電源で稼動していることを確認します。</p> <p>CPU を大量に使用する他のアプリケーションを終了します。Polycom CMA Desktop が数分以内にプロセッサ速度の変化を検出するはずですが。</p>
<p>選択されたカメラは利用できません。</p>	<p>カメラがシステムにしっかり接続されていることを確認します。</p> <p>カメラを使用している他のアプリケーションを終了するか、他のアプリケーションからカメラを外します。</p> <p>複数のカメラが取り付けられている場合は、[設定] > [ビデオ]を選択して、他のカメラを選択します。</p>
<p>証明書の破棄状況は不明です。 証明書は、接続したサイトに発行されませんでした。</p>	<p>このメッセージが消えない場合は、Polycom CMA Desktop 管理者にお問い合わせます。</p>
<p>不在時に _____ からの通話が着信しました。</p>	<p>最近の通話を連絡先リストでグループとして表示するようにシステムが設定されている場合は、ダブルクリックすると返信できます。</p>

関連トピックス

[音声とビデオの問題の解決](#)

[診断情報の収集](#)

診断情報の収集

問題を報告する必要がある場合は、システムに関する情報の提供を求められる可能性があります。Sendlog ユーティリティは、システムと Polycom CMA Desktop のログファイルに関する情報が含まれた圧縮ファイルを自動的に作成します。このファイルを保存するか、通知ログユーティリティから直接それを電子メール送信するかを選択できます。

Polycom CMA Desktop を再起動するには、以下の手順を実行します。

1. メインウィンドウから **[メニュー]** をクリックして、**[設定] > [診断] > [通知ログ]** を選択します (この画面は英語です)。
2. **[CMAD 診断の収集]** をクリックします。
3. 圧縮ファイルに含める情報を指定し、問題の説明を加えます。
4. 以下のいずれかを実行します。
 - **[Save CMAD Logs (CMAD ログの保存)]** をクリックし、圧縮ファイルの保存先を指定します。
 - **[Send CMAD Logs (CMAD ログの保存)]** をクリックし、圧縮ファイルを添付した電子メールメッセージを開きます。

関連トピックス

[設定: 通知ログ](#)

[通知のトラブルシューティング](#)

設定ページ

設定: 一般

最小化したとき、アプリケーションをタスクバーに表示

Polycom CMA Desktop が最小化されたときに、Windows タスクバーに **Polycom CMA Desktop** のアイコンを表示します。このアイコンをクリックすると、Polycom CMA Desktop メインウィンドウが開きます。

着信通話に自動応答

システムは、着信通話に自動的に応答します。

自動応答時ミュート

システムは、マイクをオンにせずに着信通話に応答します。**[着信通話に自動応答]** を有効にすると、自動応答時にも、相手側にプライベートな会話を聞かれずに済みます。

通話発信前にこちら側ビデオをプレビュー

通話を発信する前に、ローカルビデオの画像をチェックすることができます。このオプションをオフにした場合、連絡先リスト上の名前をダブルクリックすると、すぐにビデオ通話が発信されます。

マウスを連絡先リストに重ねたとき、連絡先カードを表示

マウスポインタを名前の上に置くと、連絡先に関する情報を表示できます。

連絡先リストに最近の通話を表示

最近の発信通話と受信通話を、連絡先リストに追加します。これらの通話は、異なる **[最近の通話]** グループに表示されます。

ディレクトリの検索結果を、通話可能な人とシステムに限定

ディレクトリの検索結果の表示を、Polycom CMA Desktop を現在使用しているか、CMA サーバに登録されたシステムを持っている相手先だけに限定します。

Callto: リンクと H323: リンクを開くデフォルトプログラムが Polycom CMA Desktop かどうかを必ず確認してください。

Polycom CMA Desktop が起動するたびに、Callto: リンクと H323: リンクを開くデフォルトプログラムかどうかを確認するように指定します。

関連トピックス

[ビデオ通話の発信](#)

[ビデオ通話への応答](#)

[ビデオ通話の終了](#)

設定: サインイン

プロビジョニングサーバの指定

システムの設定を表示するプロビジョニングサーバを指定します。**[自動]** を選択して、システムにプロビジョニングサーバを自動的に検出させるか、**[指定]** を選択してサーバ名か IP アドレスを入力します。

Windows の起動時に Polycom CMA Desktop を自動的に起動

コンピュータの起動時に自動的に起動します。

通話を受信すると、ビデオウィンドウが自動的に表示されます。メインウィンドウを手動で開くには、Windows タスクバーの通知領域にあるアイコン (通常は画面右下隅に表示) を右クリックします。

Polycom CMA Desktop の起動時に自動的にサインイン

Polycom CMA Desktop の起動時に自動的にサインインできます。自動的にサインインする場合は、パスワードを保存するようにシステムを設定する必要があります。そのためには、Polycom CMA Desktop を再起動し、パスワードを入力した後で **[パスワードを保存]** を選択します。

ログインのユーザ名 (ドメイン名\ユーザ名) を使用してサインイン

ネットワークプロビジョニング

サービスが提供するユーザ名とパスワードを使用して自動的にサインインすることができます。

関連トピックス[ビデオ通話の発信](#)[ビデオ通話への応答](#)[ビデオ通話の終了](#)**設定: ビデオ****カメラの選択**

使用するカメラを指定します。次のいずれかのオプションを選択します。

設定	説明
なし	カメラを使用しない
自動	カメラを自動的に選択する
指定	インストールされたカメラのリストからカメラを選択する

プレビュー

選択されたカメラからビデオを表示できます。

モニタが 2 台接続の場合、2 台目のモニタにフルスクリーンビデオを表示

フルスクリーンビデオの表示を選択すると、ビデオが 2 台目のモニタに移動するように指定します。

カメラなしでの通話が有効

カメラが接続されていない場合やカメラ選択が [なし]

に設定されている場合でも、ビデオ通話の受発信を行うことができます。

この設定をビデオ通話に使用すると、こちら側には相手側のビデオが表示され、相手側には **Polycom CMA Desktop** のロゴが表示されます。

DirectX ハードウェアアクセラレーションを使用

DirectX ハードウェアアクセラレータの使用を有効にします (コンピュータがこれをサポートしているとき)。この設定を変更する場合は、システムを再起動して変更を有効にする必要があります。

コンテンツの送信時 Windows の Aero テーマが無効

オペレーティングシステムに応じてテーマを Windows Vista Basic または Windows 7 Basic

に設定し、コンテンツの送信に使用できるシステムリソースを増やします。

コンテンツの送信を停止すると、テーマは自動的に Windows の Aero に戻ります。

720p (HD) 人物ビデオの送信を有効にする

呼び出し時に **Polycom CMA Desktop** が HD 人物ビデオを送信するかどうかを指定します。HD ビデオを送信するシステムの機能に影響を与える要因には、ローカルシステムのプロセッサ速度、カメラ機能、通話速度、ネットワーク品質、HD ビデオを受信する相手先の機能などがあります。

最大 720p のフレームレートに対応

人物ビデオを送信するフレームレートを指定できます。

実際のフレームレートは、ローカルシステムのプロセッサ速度、カメラ機能、ネットワーク品質、および HD ビデオを受信する相手先のシステム機能によって影響を受けます。一部の HD 対応カメラは、15 フレーム/秒でのビデオ品質が改善されています。

関連トピックス[カメラの選択](#)[カメラ設定の指定](#)[カメラの調整](#)**設定: ビデオのプレビュー****設定**

カメラとともにインストールされたコントロールパネルを開きます。使用できる設定項目は、カメラメーカーによって異なります。

関連トピックス

[カメラの選択](#)

[カメラの調整](#)

設定: 音声

音声入力デバイス (マイク)

使用するマイクまたはその他の音声入力デバイスを指定します。**[自動]** を選択して、Windows のデフォルトの音声入力デバイスを使用します。

音声デバイスのテスト

指定した音声入出力デバイスの動作確認を行うことができます。

音声出力デバイス (スピーカー)

使用するスピーカー、ヘッドホン、またはその他の音声出力デバイスを指定します。**[自動]** を選択して、Windows のデフォルトの音声出力デバイスを使用します。

警告

呼出音と警告音に使用する音声出力デバイスを指定します。**[自動]** を選択して、Windows のデフォルトの音声出力デバイスを使用します。

関連トピックス

[音量の調整](#)

[音声設定の指定](#)

[音声デバイスのテスト](#)

設定: 音声テスト

ふつうの音声レベルで話して音声入力デバイスをテスト

話している間、インジケータはマイクからの音声レベルを表示します。音質を高めるため、音声レベルを示すカラーバーが、ほとんどの場合、緑色で表示されるように話します。このためには、マイクを離れた位置にセットしなければならない場合もあります。

通話に使用する音声デバイスのテスト

テストを開始するには **[開始]** をクリックし、テストを終了するには **[終了]** をクリックします。

警告に使用するデバイスのテスト

テストを開始するには **[開始]** をクリックし、テストを終了するには **[終了]** をクリックします。

関連トピックス

[音声とビデオの問題の解決](#)

設定: ネットワーク

インターネット接続の種類を選択します

ネットワークへの接続方法を指定します。接続の種類によって、使用できる通話機能と通話速度の制限が異なります。システムに通話速度の制限がプロビジョニングされている場合は、プロビジョニングされた速度によって通話に使用される速度が決まります。

ネットワークタイプ	ネットワークの制限 (すべてのトラフィック)	通話速度 の 制限	ビデオ	コンテンツ	音声	チャット
企業ネットワーク	10 Mbps	制限なし	●	●	●	●
プレミアムブロードバンド	768 kbps 以上	512 kbps	●	●	●	●
高速ブロードバンド	512 kbps	384 kbps	●	●	●	●

標準ブロードバンド	384 kbps	256 kbps	●	●	●	●
基本ブロードバンド	256 kbps	192 kbps	●	●	●	●
最小ブロードバンド	128 kbps	64 kbps	—	—	●	●
ダイヤルアップ	128 kbps 未満	—	—	—	—	●

メモ:通話中はネットワーク設定を変更できません。

関連トピックス

[ビデオ通話の発信](#)

[チャットの使用](#)

設定: 警告

通話中に警告音を再生しない

ビデオ通話中または音声通話中に警告音を再生しないように設定します。

以下の場合に警告

これらのイベントごとにユーザに通知する方法を選択できます。

- 連絡先がオンラインになったとき
- 連絡先がオフラインになったとき
- 相手側が、こちら側の情報を連絡先リストに追加
- メッセージを受信
- 通話を受信

フルスクリーンビデオが表示されている場合、警告は非表示になっています。

ビデオ通話の着信に対する警告音を繰り返し再生するかどうか指定することもできます。

- 呼出音を一度だけ鳴らすには、**[呼出音を一度だけ鳴らす]**を選択します。
- 着信通話に応答するか相手側が通話を終了するまで、呼出音を繰り返し鳴らすには、**[呼出音を連続して鳴らす]**を選択します。

関連トピックス

[警告の設定](#)

[通話への応答](#)

設定: プレゼンス

アイドル状態のとき、プレゼンスを自動的に変更

通話への応答可否を他の連絡先に対して自動的に表示します。

非アクティブな状態で以下の時間が経過した場合、"アイドル" と表示:

連絡先リスト内で名前に "アイドル" マークが表示されるまでのシステムのアイドル時間 (分) を指定します。[連絡先の詳細] ウィンドウには、[状況] として **[アイドル]** と表示されます。プレゼンスアイコンは、マウスを動かすと **[応答可]** に戻ります。

以下のプレゼンスを常に表示:

コンピュータを使用中かどうかに関係なく、選択したプレゼンスを他の連絡先に対して表示します。

連絡先リストへの登録承諾依頼を自動的に承諾

相手側の連絡先リストへの登録を依頼し、こちら側の応答可否をただちに相手側で表示します。

関連トピックス

[相手側にこちら側の応答可否を表示](#)
[応答可能なユーザの表示](#)

設定: メッセージ

メッセージ入力中に Enter キーを押したとき

メッセージ入力中に Enter キーを押したときの動作を指定します。以下のいずれかを選択します。

- **[メッセージの送信]** を使用すると、**[送信]** ボタンをクリックせずに、メッセージをすぐに送信できます。
- **[改行の挿入]** を使用すると、ワードプロセッサと同じように入力操作を継続することができます。メッセージを送信するには、**[送信]** をクリックします。

チャットウィンドウを通話ウィンドウに固定

チャットウィンドウを通話ウィンドウに "固定" するかどうかを指定できます。ウィンドウを固定する場合は、チャットウィンドウの位置を指定します。

- **[下端に固定]** を使用すると、チャットウィンドウが通話ウィンドウの下側に固定されます。
- **[右端に固定]** を使用すると、チャットウィンドウが通話ウィンドウの右側に固定されます。

メッセージとともに日時を表示

各メッセージの日付と時刻を表示します。

こちら側はタイプ入力中であることを他のユーザに公開

タイプ入力中、こちら側のメッセージを相手側に表示させます。

関連トピックス

[チャットの使用](#)

設定: プロセッサ

検出されたプロセッサ

コンピュータとその性能に関する詳細を表示します。以下のような性能があります。

チャット

音声通話

基本ビデオ

標準ビデオ

コンテンツの送受信

プレミアムビデオ (HVGA または VGA、最大 30 fps)

HD ビデオの送信 (最大 30 fps)

HD ビデオの受信 (最大 30 fps)

以下で最適性能が得られるようにシステムリソースを割り当て

- **Polycom CMA Desktop** は、他のアプリケーションが実行中でも、Polycom CMA Desktop で最適性能が得られるようにシステムリソースを割り当てるように指定します。(推奨)
- **[バランスさせる]** は、実行中の Polycom CMA Desktop と他のアプリケーションとの間で、システムリソースが均等に割り当てられるように指定します。

- **【他のアプリケーション】** は、Polycom CMA Desktop が実行中でも、システムで実行されている他のアプリケーションで最適性能をが得られるようにシステムリソースを割り当てるように指定します。

関連トピックス

[設定: 設定](#)

設定: 設定

このページには、Polycom CMA サーバから Polycom CMA Desktop に自動入力される設定が表示されます。

関連トピックス

[設定: 一般](#)

設定: 通話情報

リモートシステム ID

相手側のビデオ会議システムの種類とソフトウェアバージョン

通話速度

ネゴシエートされた通話速度 (帯域幅)。通常は、通話の映像と音声を合わせた速度です。

喪失パケット数

通話中に喪失したビデオパケット、音声パケット、データパケット (送信パケットと受信パケットを含む) の数 (パケットロス、ネットワークに過度の負荷やその他の問題があることを示します。[ネットワーク設定] ページの [帯域] タブの [帯域の動的割当] オプションを使用すると、通話帯域幅を減らしパケットロスを防止することができます。)

パケットロス

パケットロスの合計を、こちら側と相手側がそれぞれ送信したパケット合計数のパーセントで表したもの

前回通話時間

最近完了した通話の時間数 (時分秒単位)

累積通話時間

インストール時以降または前回のソフトウェア更新時以降に接続されたすべての通話の合計時間数

発信通話数

インストール時以降または前回のソフトウェア更新時以降で、発信された通話の合計数 (接続に失敗した通話も含む)

着信通話数

インストール時以降または前回のソフトウェア更新時以降で、応答に成功した通話の合計数

接続通話数

インストール時以降または前回のソフトウェア更新時以降で、発信に成功した通話の合計数

AES 暗号化チェックコード

この通話に使用されている AES 暗号化チェックコード

Tx

"transmit" (送信) の略語。この列の情報は、相手側に送るデータが暗号化されるかどうかを示します。

Rx

"receive" (受信) の略語。この列の情報は、相手側から受け取るデータが暗号化されるかどうかを示します。

人物ビデオの暗号化

送受信中の人物ビデオの暗号化ステータス

コンテンツビデオの暗号化

送受信中のコンテンツビデオの暗号化ステータス

音声の暗号化

送受信中の音声の暗号化ステータス

FECC 暗号化

相手側のカメラ制御の暗号化状況

関連トピックス

[設定: メディア情報](#)

[ネットワーク設定の指定](#)

設定: メディア情報

People Tx

人物ビデオ (送信側) に関する統計情報

People Rx

人物ビデオ (受信側) に関する統計情報

Content Tx

コンテンツ (送信側) に関する統計情報

Content Rx

コンテンツ (受信側) に関する統計情報

Video Protocol

進行中の通話で使用されている ITU-T ビデオアルゴリズムと annex
(使用されるビデオプロトコルは、こちら側システムの設定と相手側システムの性能によって異なります。)

Video Rate

通話の帯域幅のうち、ビデオに割り当てられた帯域幅
(音声レートに対するビデオレートの割合は、使用される通信プロトコルによって異なります。)

Video Rate Used

通話の帯域幅のうち、実際にビデオに使用されている帯域幅
(この数値はリアルタイムで測定され、通常、測定値は変動します。[ネットワーク設定] ページの [帯域] タブの [帯域の動的割当] オプションを使用すると、この値は変動します。)

Video Frame Rate

相手側に送信されるビデオ画像のフレームレート (システムは、最大 30 フレーム/秒で送信します。カメラが大きな動き、連続的な動き、繰り返しの動きなどをとらえると、ソフトウェアがデータをビデオフレームに構成するのに時間を要するため、フレームレートが低下します。室内の照明が変化した場合も、フレームレートが低下します。)

Video Packets Lost

通話中に喪失したビデオ データ パケットの数
(パケットロスは、ネットワークに過度の負荷やその他の問題があることを示します。)

Video Jitter

ビデオ転送レートの変動率 (パーセント)

Video Format

進行中の通話で使用されているビデオ画像のフォーマット

エラーコンシールメント

進行中の通話で使用されているエラーコンシールメント。エラーコンシールメントを使用するには、こちら側と相手側の両方でサポートされている必要があります。このフィールドに表示される値は以下のとおりです。

値	説明
なし	相手側でサポートされていないため、エラーコンシールメントは使用されていません。
応答可	エラーコンシールメントは使用可能ですが、この通話では必要ありません。
LPR	この通話のビデオに、LPR が使用されています。

Audio Protocol

進行中の通話で使用されている音声アルゴリズムと annex
(使用される音声プロトコルは、こちら側システムの設定と相手側システムの性能によって異なります。)

Audio Rate

通話の帯域幅のうち、音声に割り当てられた帯域幅
(ビデオレートに対する音声レートの割合は、使用される通信プロトコルによって異なります。)

Audio Packets Lost

通話中に喪失した音声データ パケットの数
(パケットロス、ネットワークに過度の負荷やその他の問題があることを示します。[ネットワーク設定]
ページの [帯域] タブの [帯域の動的割当]
オプションを使用すると、通話帯域幅を減らしパケットロスを防止することができます。)

Audio Jitter

音声転送レートの変動率 (パーセント)

関連トピックス

[設定: 通話情報](#)

[ネットワーク設定の指定](#)

設定: 通知ログ

通知ログ

警告メッセージと受け取った日時を一覧にします。ログエントリをクリックすると、完全なメッセージが表示されます。

通知を消去

通知をログから消去できます。

CMAD 診断の収集

Polycom CMA

Desktop ログとシステムに関する情報を含む圧縮ファイルを作成できます。ファイルを保存するか、直接ユーティリティから電子メール送信するかを選択できます。

関連トピックス

[通知のトラブルシューティング](#)

[診断情報の収集](#)

著作権と免責事項

Copyright © 2009 All rights reserved.

Polycom® と Polycom logo は Polycom, Inc. の登録商標で、Polycom CMA Desktop™ は Polycom, Inc. の商標です。

その他すべての製品名および会社名は、それぞれの所有者の商標または登録商標です。